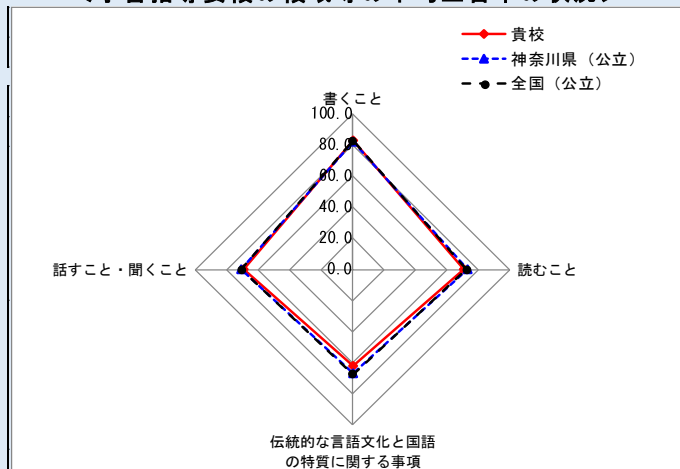


# 令和元年度全国学力・学習状況調査 問題別調査結果分析

## 【国語】

＜学習指導要領の領域等の平均正答率の状況＞



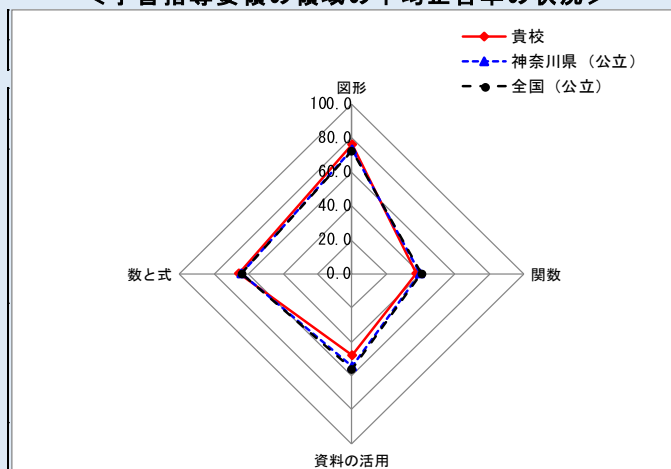
○どの領域も平均もしくは多少上回る結果が示されており、語句の意味や文章を読み解く基礎的な力が備わっていると考えられます

△「古典」分野の知識や、日本語文法に関する正しい用法に課題があることが分かります。

グループワークで個々が分担を持って互いの考え方を発表し合い、古典や文法への理解を深められるよう取り組んでいます。

## 【数学】

＜学習指導要領の領域の平均正答率の状況＞



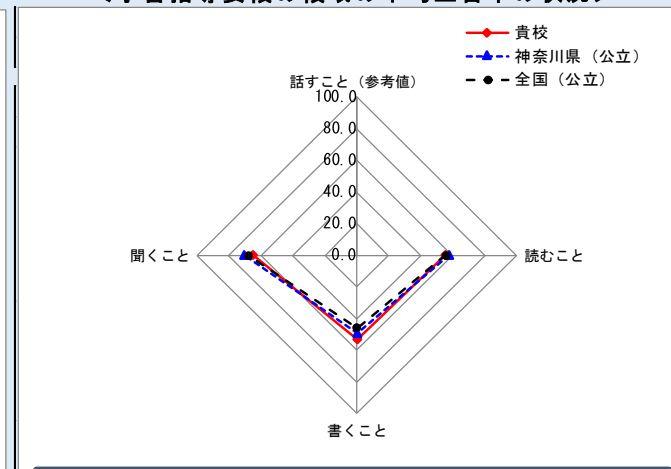
○どの領域も平均もしくは多少上回る結果が示されており、計算の方法や図形の定理など、基礎的な力は備わっています。

△最頻値など、表やグラフから必要な数値を読み取る力に課題があることが分かります。

TT体制による個々の基礎学力の定着強化と、生徒同士の教え合い活動を通して応用力を伸ばす両方の取組に力を入れています。

## 【英語】

＜学習指導要領の領域の平均正答率の状況＞



○どの領域も平均もしくは多少上回る結果が示されており、単語の意味や文法の規則性など、基礎的な力は備わっています。

△英文を音として質問されたとき、大まかな意味は理解できても、何を回答すべきなのかを的確に把握できなかった可能性があります。

AETによるアクティビティ的な授業で英文を聞き取る力を伸ばしたり、書いた英文を発音された英文と比較する学習にも力を入れています。

## 【総評】

本校では、分かりやすい授業を目指して「授業のユニバーサルデザイン化」、考えの表現力や理解力の伸長を目指した「アクティブラーニング」に取り組んでいます。本学力状況調査などの結果分析を踏まえ、教員間の授業参観や意見交換機会を計画的に実行しており、教員の授業力向上と生徒の学力定着に努めています。